

うさぎ組になって1か月が経ちました。進級、入園とともに、生活面においての変化が多くありましたが、「次はなにをするの?」と目を輝かせながら身の回りのことに意欲的に取り組んでいます。うまくできなくて困っている友だちがいると手伝ったり、保育者を呼びに来てくれたり、幼児らしい頼もしい姿を見せてくれることもありました。

4月はこいのぼり制作を楽しみました。筆を手に持ち、「きいろとあおでみどりになった!」「むらさきもできたよ。」と、じわじわと絵の具が染みていく様子を眺めたり、目の位置にこだわったり、それぞれの表現を楽しみながら一人ひとり素敵なこいのぼりができました。

5月は緑が深まるとも気持ちの良い季節です。園庭で元気に体を動かしたり、散歩に出かけて探索活動を楽しみたいと思います。また、5/26(金)は春の遠足を予定しています。いつもとは違う環境の中、さまざまな発見に心を動かして楽しみたいと思います。



ある日の朝の会の時間に『かえうた かえうた こいのぼり』という『こいのぼり』の替え歌を題材にした絵本を読みました。読み終わると子どもたちから、「この歌、うたいたい!」という声が上がりました。その日以降、毎日「こいのぼり歌う!!」とリクエストをしてくれるようになり、特に4番の「♪へびよりながいこいのぼり～」の部分がお気に入り、歌が始まると25匹のへびたちが「によろ〜♪」と大きな声で歌いながら、ニコニコ保育室の床を這う姿がかわいいです。

ひつじ組になり、1か月が経ちました。黄緑の帽子をかぶり、進級の喜びを感じている子どもたちです。「だってひつじ組だもん!」と張り切って身の回りのことを自分でしようとする姿も見られます。4月はこいのぼり制作を楽しみました。水風船や緩衝材の模様を楽しんだり、画用紙で目玉作りをしたりしました。『こいのぼり』の2番の歌詞の“吹き流し”という言葉を知り、「吹き流しも作ろう!」と子どもたちが提案し、作ることに意欲的になっていました。戸外では体を動かすことが大好きで、かけっこをしたり、前転や巧技台によじ登りジャンプをしたりと様々なことに挑戦しました。また、『春の遠足』は良い天気の中、甲山へ行くことができ、リュックを背負って、頑張って歩く姿に成長を感じました。「楽しかった!」と喜ぶ声が嬉しかったです。これからもいろいろな公園や園外保育に出かけ、経験を積み重ねていきたいと思っています。

5月はお店屋さんごっこを楽しみたいと思います。様々な素材を使ってイメージしたものを作ったり、ごっこ遊びのストーリーの中でやりとりしたりすることを大切にしたいと思っています。また、ごっこ遊びを通して、様々な身近な人の働きを知り、たくさんの人に支えられていることに気付けたらと思います。

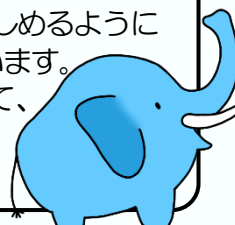


『おおあらし』という集団ゲームを楽しんでいます。(フルーツバスケットのルールです)「髪の毛くくってる人!」「髪の毛くくって…ない人!」など、お題が自分にあてはまる場合、座っている場所を移動します。『おおあらし!』と言われると全員移動します。ある日、Aちゃんが言ったお題は・・・「・・・とうがらし!!」

『おおあらし』に聞こえた子どもたちは急いで移動していましたが、Aちゃんのかわいい表現に笑みを隠せない担任でした。いろいろなゲームをする度に目を輝かせて楽しんでいます。引き続き集団ゲームをする中で友だちと一緒に遊ぶ楽しさを味わえるようにしていきたいと思っています。

進級から1か月が経ちました。体育遊びやお泊まり保育など、“ぞうぐみになったらできること”を楽しみにしていた子どもたちは、「先生、お泊まり保育の部屋ってどのくらい大きいの?」「体育遊びは、先生が3人来るんだよね?ひつじ組の時に見てたから知ってるよ!」と期待に胸を膨らませながら会話を楽しんでいました。また、保育センターで年長のお兄さん、お姉さんになったことの喜びも感じているようで、異年齢の友だちが困っている時や、一緒に遊びたいと声をかけられた時には優しく応じる姿も見られました。そんな姿から、うさぎ組の午睡後にベッドの片付けや着替えのお手伝いに行くことになり、さらに張り切っている子どもたちです。一つ大きくなった喜びと、自分たちにできることが増えたことが自信となり、生活に必要なことを積極的に行ったり、話し合いの中で自分の意見を伝えようとしたりする姿がたくさん見られるようになり、成長を感じています。こうした姿を大切にしながら今月も過ごしていきたいと思っています。

5月は、子どもたちとクラス全体でごっこ遊びをしようと話し合った結果、ホールで『ぞうぐみコンサート』をすることになりました。楽器の演奏や、みんなで考えたダンスや手遊びを異年齢の友だちと一緒に楽しめるようにアイデアを出し合いながら、作り上げていこうと計画しています。招待する異年齢の友だちとの関わりや、やりとりを通して、自分たちより小さい友だちを思いやる気持ちや、楽しさを共有する喜びを感じていけたらと思います。



散歩先の東光寺で、龍の絵を見ながら会話をしていた時のことです。誰からか、夜になると龍の絵が動き出すという話になりました。そして、また別の日にみんなで絵を見に行った時のこと…。

Aくん「先生見て!龍が増えてる!!」
Bちゃん「雲の中から降りてきたんじゃない?」

Cちゃん「夜に動いて来たんだね…」

子どもたちの真剣な表情と、かわいい会話に癒された担任でした。